



# 日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り  
第33号  
2010年10月20日  
編集兼発行人  
藤森 好則

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



## “大津港の盆船流し”

撮影者：塚本 恭史  
撮影日：平成 22 年 8 月 16 日  
使用カメラ：LUMIX DMC-FZ50 (LEICA)  
シャッター速度：1/250 秒 絞り：5.0  
ISO:100 レンズ焦点距離:70 mm 手持撮影  
撮影余話：デジカメ月例撮影会に初参加し、大津港の盆舟流しを早朝撮影した。  
快晴に恵まれ、水面に良く映える精霊流しの約 2m の木造盆舟は、さも気持良さそうに湾内を一周し外海へ消えて行った（その後倉庫へ回収保管）。笹や献花で美しく飾られ、薫や胡瓜の船頭が戒名と共に精霊流しされていく様は厳粛だった。

## リレー随筆 (33) ポツダムで思う 谷越 敏彦



今年 7 月東ドイツと東ヨーロッパ諸国を観光旅行しました。第二次世界大戦の敗戦から 65 年、ベルリンの壁崩壊から 20 年の節目の年でもあり、観光と共に、大戦を振り返る良い機会になりました。

特に、東ドイツには日本軍の無条件降伏を要求した「ポツダム宣言」で有名な都市ポツダムがあったからです。ポツダム会議で有名な「ツェツィーリエンホーフ宮殿」はユングフェーン湖に面して建っており、当時のまま保存され博物館として公開されています。大会議室の周りに米国、英国、ソ連首脳の家が並んでいました。ナチス・ドイツ降伏後の 1945 年 7 月 17 日～8 月 2 日、3ヶ国首脳が集まり、第二次世界大戦の戦後処理、主にドイツの分割統治とソ連の対日戦参戦を含めた日本との戦争終結について話されました。

ポツダム宣言は 7 月 26 日、米国、英国、中華民国 3ヶ国の共同声明として発表されました。その時、英国首相チャーチルは帰国中、中華民国代表蒋介石は初めから出席しておらず、米国大統領トルーマンが作成し、3人分の署名を 1 人でしたとのこと。従って、ポツダム宣言はポツダム会議で合意されたものではないことを初めて知りました。スターリンはトルーマンから満州への侵攻を執拗に迫られ、内心しめたと思ったに違いない。日露戦争の屈辱を晴らし、南に領土拡大出来る千載一遇のチャンスが転がりこんできたからです。

会議の終り近く、トルーマンは原子爆弾の実験成功の報を受け、連合軍だけで日本を降伏させることが

できると確信しながらソ連の参戦を止めなかった。日本政府は、宣言の中に「天皇制維持」に関する言及が無いのは容認出来ないとして無視したとのこと。

戦局を正しく認識し、米国大統領府などの非公式情報ルートがあれば、この時、宣言を受託しており、ソ連の参戦（8月8日）と広島（8月6日）長崎（8月9日）への原爆投下は避けられたのではないかと残念です。

文藝春秋七月号の藤原正彦氏の論文「日本国民に告ぐ」によると、連合軍最高司令官マッカーサーの占領政策は再起を恐れ精神構造を変え、価値観を団体から個人に切り替えることを基本としていた。ハーグ条約に違反している上に人道的にも許されない広島と長崎への原爆投下や日本の都市への無差別爆撃を含め総て日本の軍人と軍国主義者の責任に転嫁し、二千年の歴史の中で培ってきた日本文明の価値観、秩序や和の精神、日本人としての魂までも失わせたことと断じています。今こそ民族の歴史と文化や環境を正しく認識し、判断力を高め、自立した個性を確立することが求められていると思います。

今回の東ヨーロッパ旅行で得たものは単なる歴史遺産に関する知識だけでなく、自分の過去を見つめ将来の生き方を考える契機となったことです。



ツェツィーリエンホーフ宮殿

# サッカーに魅せられて50余年

《今年は憧れの国立競技場で蹴ることが叶いました!》

鈴木 英雄



南アフリカで開催された今年のサッカーW杯は、日本、韓国などアジア勢の健闘や好ゲームが多く、ラング上位チームが下位チームにくわれる等、二〇〇二年の日韓共催時より盛り上がったのではないかと思います。世界レベルのスタープレーヤーの見事なテクニク、身体能力のすばらしさ、磨き抜かれたチームワーク等、サッカーを知る者にとってピデオでは不満で幾夜も徹夜されたとか。

私にとって一番印象に残ったのは元中田英寿選手が突然引退して自分探しを始めて八年、「もう一度サッカーに関わって見たい」と言わしめたことです。どんなスタンスでサッカーをするのか、今の日本の場合はJリーグを足場に全日本、そして世界に、となるのが少年たちの夢でしょうか? 海外組の本田・長谷部等今を最高に思えますが、仕事としてのサッカーは決して楽しくはないと思われま。

ましてやJAPANNとして国の代表ともなれば、個の力をチームの為にどう使われるか。中田英の引退もそこにあったことを知り、それでも又やりたくなかった!と言わしめたのは、スペインのパスサッカー「チーム力」で勝てるサッカーの優勝を見たからに相違ありません。

さてサッカー論をするつもりで書き始めたのではありません。五十年前に出会って虜になった私のサッカー人生を少し語らせて下さい。

昭和二十二年樺太から引揚げ、落ちていた盛岡市での五年目中二の時でした。当時工藤孝一さん(早大監督や全日本コーチ)が岩手のサッカー協会

長で、田舎のわりにサッカーが盛んであった。引揚者地域にある厨川中学は二、三年遅れた悪(わる)の集まりで、クラブ活動でエネルギーを使わせるにはもってこいの競技でした。ボールと空地があれば何人も楽しめるので朝登校したらジャンケンで組み分けし二人揃うと入れ替る始業ベルがなるまで駆け廻るのがこの学校の日常でした。学年毎三ヶのボールが飛びかうのです。一年生の時は怖くて入部せず軟式庭球部でしたが、朝の蹴りあいで味をしめ、怖い三年生が卒業したこともあり、二年生になってサッカー部に入りました。

以来今日まで虜になってしまいました。こんな中学校でしたから部活でやっていなくとも高校ではサッカー部に入るんだ!も多く、瀬田龍彦君(後輩で日立入社・天皇杯優勝・全日本のGK)も中学はスケート部でした。中三の時県大会が始まり十三年間無敗の記録も伝説となつています。



工藤さんより表彰を受ける中3の夏、県制覇、サッカーとの関わり原点

高校は創部二年目の弱いチームでしたが、一年生三人が柱となり県制覇し、他高OBの八重樫茂生さん(当時中央大、後に工藤監督を慕い早大に転じメキシコオリンピックで三位置となったJAPANNのキャプテン)が、夏の合宿には母校に行かず指導に来てくれる程期待されながら、翌年も三年生の時も県で勝てずじまいでした。遠野高校の台頭、秋田商業等強かった。

社会人となり、全国大会へは日立

工場に入つて三年目、都市対抗三位、熊本国体四位と関東予選を勝ちあがつて得た昭和三五年がピークでした。

定年後は、「ねんりんピック」に参加して、平成十一年から福井、大阪、広島、福島、群馬、福岡、茨城まで七年参加しました。今年からオーバ一七十の大会も動き出します。

さて五十余年続けて来れて良かった!と思えること、いろいろありましたが自分なりに歓びを三点あげてみます。

### 一、健康を貫つた

大きな怪我もなかったし、胃がんも早期発見でクリアー、サッカーを続けられる身体でいたい!の思いで健康に留意できたことです。胃袋無しの消化不良体はメタボの心配も無く、五十九kgと六十二kgと入社時の体形が維持できています。

ゴルフも四十四年前から始め二五九回を数え(昨年九七回)年平均二十九回弱出ています(愉しむゴルフで100叩きですが...)。

二、後輩達が日本一を達成してくれた。昭和三十年代には会瀬グラウンドを借りて合宿させたりして(この頃瀬田君が高校入学前に帯同した小野寺先生とGKしかいないか!と砂場でセービングをさせた)。

果たせなかつた夢を託して応援してきましたが、二〇〇七年一月国立競技場で校歌を歌える感激に涙しました。創部五十四年目、六四〇〇校の頂点に立てたのです。当時の小野寺先生がサッカー協会会長で何よりの恩返しでした。

工藤さんから賞状を貰ったスタート時点から奇しくも五十四年、恩師が協会会長で隣の席にいる感激を超え、これで自分のサッカー人生も終われると思えたことでした。

三、国立競技場でボールを蹴れた。今年一月十六日この国立競技場のピッチでボールを蹴る機会に恵まれました。大会は東大OBが東京都サッカー協会等の後援を得て、銀行をスポンサーに「ロイヤル(オーバ一七〇)サッカー東西対抗戦実行委員会」を立ち上げ、今年は全国から一六〇名を集め、紅白一〇チームに分け五試合の交流試合を組んでくれたのです。日本のサッカーを幼少期から支えてきた川

淵元チェアマン、岡野俊一郎氏や、ねんりんピックで七、八年前から顔を会わせている全国の蹴友との楽しい一日でした。



シュート成らず! 45番が筆者



ロイヤルサッカー紅白戦の第3試合メンバー 前列中央に筆者

鈴木英雄氏 連絡先

〒316-0032  
日立市西成沢町4-42-4  
電話 0294-36-4211

## 同好会行事に参加して

### 第45回研修会「大みか事業所・日立事業所臨海工場(半導体製造工場)見学」 加藤 春雄



「一寸手伝ってくれ」当時整流器設計課長の浅野弘さんから制御装置設計課の私に電話有り。浅野さんの手には出来たてのサイリスタ素子。「これでモーターを廻そう」。早速回路図を描き、トランジスタや抵抗・コンデンサー・シリコン整流器等の仕様決めと購入、絶縁板への穿孔取付・半田付、連日深夜迄の苦闘。遂に100V/65W/直流モーターが意のままに廻った。1961年始め、日立サイリスタレオナードの誕生である。2人は抱き合って喜んだ。

今回の研修会(工場見学)で見学した職場は、その頃とは比べるべくもありませんが、若い頃の良き日を思い出させてくれるのに十分な機会になりました。私はおよそ年4回実施される研修会になるべく参加するようにしていますが、その都度色々な発見があり、楽しみがあり、続けて行きたいと思っております。

### 「野鳥自然観察会」へ参加して

城戸 勝弘



明るい陽を浴び山野を歩く健康を求め、野鳥自然観察会に入り4年にもなる。以来、月一度の会には、並みいる鳥類学博士、探鳥名人の面々の中、首迄どっぷり浸かり未知の世界を、満身感動、嬉々として泳いでいます。その感動の究極とは、探鳥名人の

一人の発声「〇〇鳥発見!」、我双眼鏡を始動し周囲の仲間の動きを真似て「〇〇鳥」を探し求める。漸くして、「らしきもの」を視界に捕える。その後名人達のフィールドスコープにて、我視界に捕獲の「らしきもの」の正当性を確認し安堵する。

感動は続く、帰宅後パソコンには、あの「神様達」から先程追い求めた〇〇鳥、他沢山の撮り立て写真が届く。この頃、ほんの数時間前仕入れたばかりの鳥類学を、声高に女房に受売り、「教えることは二度学ぶこと」を実践するのだが…。この鳥君達の世界にも「地球環境変化の影」大と聞き心が痛む。

### 「料理教室」へ参加して

久保 裕



会社勤務のころは一切料理に手を出したことがなかった。退職してから、妻に「自分も料理をしてみようかな」と言ったところ、「やめときなさい」と、愛想もない。自分の仕事場に闖入してくる邪魔者扱いである。

それにもめげず月一回の料理教室に通いだした。そして月一回だけは料理をする権利を獲得した。料理は相当に体力のいるものだと判る。食材の下ごしらえ、煮る、焼く、蒸すなど時間との勝負だ、調味料の順序、入れ具合で味が決まる。棚から食器を取り出す、盛り付けする。新米は台所で数時間の格闘である。

自分で作る料理は確かに美味しい。ビールを飲みながら、あっという間に食べ終わるのである。

食後の後片付けも、なかなかの体操なのだ。食器を洗い、布巾で水気を取って食器棚に戻す。

こういう楽しみを自動化したり、インスタントや外食していたのでは、駄目だと気付いたのである。

## 支部からの お知らせ

### 理事会・茨城支部役員会報告

#### \* 第59-4回 日立社友クラブ理事会報告

1. 開催日：平成22年9月2日(木)
2. 議事
  - ・入会員の件  
役員・理事8名が退任された。  
満65歳到達者(入会有資格者)63名全員が入会を許可され、会員数は4,999名となった。
  - ・第60回日立社友クラブ総会の件：10月1日(金)  
ホテルニューオータニで実施。  
長寿祝：白寿：3名 米寿：37名 喜寿：250名

#### \* 第21-5回 茨城支部役員会報告

1. 開催日：平成22年9月14日(火)
2. 議事
  - ・新入会員審議  
新入会員4名の審議が行われ、入会承認された。  
9月14日現在で茨支部会員数は1,069名となった。

### \* 年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知致しておりますので、ご確認の上納入下さるようお願い致します。



### — 頒布中です —

創業の原点・先人の心に思いを馳せ、日立100年の歴史を学び直して「語り継ぎたい日立の心」を有志で纏めました。

(頒布価：税込¥1,000)  
(日)構内売店及びシビックセンター1階売店でお求めください。

### 訃報

大変喜ばしいことに、訃報者はございませんでした。編集委員一同皆様のご健勝をお祈り致します。

**編集後記** 谷越さんの「ポツダムで思う」では、“知られざるポツダム宣言の真実”をレポートされ、ただ驚きです。情報ルートを通し、正しく現状認識をしていたならば、悲惨な結果を“避けられたのでは”とのご指摘に同感です。鈴木さんの「サッカーに魅せられて50余年」、スポーツを通じての人生交流の喜びにはうらやましい限りです。健康を維持され今後ともご活躍をお祈り致します。  
藤森 好則

## 同好会の行事ご案内(11月～H23/1月)

### 1. 第44回歩こう会【大みかー東海を歩く】

大甕駅から東海駅までの散策を計画しました。途中南高野貝塚公園、石神城址などを辿りながら秋空をゆっくりと歩いてみましょう。皆様のご参加をお待ち致します。

- ・開催日：平成22年11月12日(金)  
雨天延期12月9日(木)
- ・集合：常磐線大甕駅 10:00 スタート  
解散は東海駅ですからJR利用下さい。
- ・コース：大甕駅→赤羽緑地→南高野貝塚公園→石神城址公園(昼食)→東海村役場→東海駅西口  
13:30 解散 (9.3km 平坦地)
- ・持参する物：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込締切：平成22年11月5日(金)
- ・申込先：須江 二郎 Tel/Fax.0294-53-5901  
E-mail:j-sue@nifty.com

### 2. 第46回研修会【富士重工群馬製作所他見学】

富士重工業(株)群馬製作所矢島工場・スバルビジターセンター(群馬県太田市)他を見学します。

- ・開催日：平成22年11月19日(金)

### 4. 定例行事予定一覧表

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		11月	12月	1月				
野鳥自然観察グループ	石川 皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.ne.jp	15(月)			小山ダム	9:00～ 12:00	参加費:¥200/回 原則 雨天中止	
			20(月)		潤沼			
				17(月)	栗原			
囲碁の会	日立地区 安藤捷治 0294-37-0759 sh-andou@net1.jwayl.ne.jp	10(水) 24(水)	8(水) 22(水)	12(水) 26(水)	東暁館別館	10:00～	参加費:¥100/回 大会:¥1300	
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	18(木)	16(木)	20(木)	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700	
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	8(月) 22(月)	13(月) -	11(月) 24(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回 12月は忘年パーティ	
卓球クラブ	石川隆宏 0294-32-0261 spka5da9@citrus.ocn.ne.jp	3(水) 17(水)	1(水) 15(水)	5(水) 19(水)	日立体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年	
デジカメクラブ	佐藤一男 0294-53-4573 satoka31010@net1.jway.ne.jp	1(月)	6(月)	5(水)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む	
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	*5(金)	3(金)	7(金)	東暁館別館 *上記案内3項参照	9:30～ 12:30	参加費:¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	シニアPC I 大越健児 0294-37-4931 ken-ooko@muc.biglobe.ne.jp	15(月)	20(月)	17(月)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食別途	
		23(火)	28(火)	25(火)				
	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@hb.tp1.jp	2(火)	7(火)	6(木)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	基礎講座	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	9(火)	14(火)	11(火)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1400/回 昼食代含む
	極楽サロン	島田勇一 0294-34-4467 yshimada@ng.ejnet.ne.jp	18(木)	16(木)	20(木)	東暁館別館	10:15～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	23(火)	22(水)	25(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
MM研	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	26(金)	24(金)	28(金)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む	

専門講座の日程<Windows 7 勉強会:原則第4木曜日、デジカメ撮影の基礎勉強会:原則第3水曜日>

- ・集合場所・発車時刻:  
大甕駅前(常陽銀行大みか支店前);7:00  
JR上り6:55着、下り6:52着を待って出発  
日立南ドライブイン;7:05
- ・会費:4,500円予定(バス代、昼食代他)
- ・募集人員:先着35名、申込期限10月25日(月)
- ・申込先:小口 伊佐男 Tel/Fax:0294-37-3048  
E-mail:isao\_oguchi@lake.ocn.ne.jp

### 3. 写真五七五【芭蕉足跡探訪 福島市】

紅葉の季節に福島市にある芭蕉の足跡「文知摺石」、「医王寺(義経を守った佐藤継信・忠信兄弟の菩提寺)」、「飯坂温泉」をバスで訪ねます。飯坂温泉では「鱒湖の湯」などの共同浴場にも入浴できます。

- ・開催日:11月5日(金)(雨天決行)
- ・集合:日立駅海岸口:7:25 出発  
神峰公園:7:40 出発
- ・帰り時刻:日立駅海岸口:17:15 予定
- ・会費:5,000円(昼食、入浴料は別)
- ・募集人員:先着24名 申込締切;10月27日(水)
- ・申込先:八巻秀雄 Tel/Fax 0294-34-4173  
E-mail:yamaki@green.ocn.ne.jp

#### 同好会行事に参加しませんか!

年会費1,000円(行事参加費は別途)で下記のどの行事にも参加できます。Windows 7、デジカメ写真の撮り方の講座などもあります。